



統計資料29-6-2

平成29年5月8日
統計課統計分析係
(027) 226-2405

群馬県景気動向指数

平成29年2月

平成29年10月1日現在で
就業構造基本調査を実施します！

平成 29 年 5 月

群馬県企画部統計課

インターネットでご覧いただけます
<http://toukei.pref.gunma.jp/gdi/index.html>

景気動向指数の概要

1 平成29年2月のC I（コンポジット・インデックス）

先行指数は、前月と比較して0.7ポイント上昇し、131.0となった。
 一致指数は、前月と比較して0.8ポイント上昇し、105.0となった。
 遅行指数は、前月と比較して1.5ポイント上昇し、118.8となった。

2月の景気動向指数の一致指数は、鉱工業生産指数等がプラスに寄与したことから、前月と比較して上昇した。

2 前月差に対する個別系列の寄与度

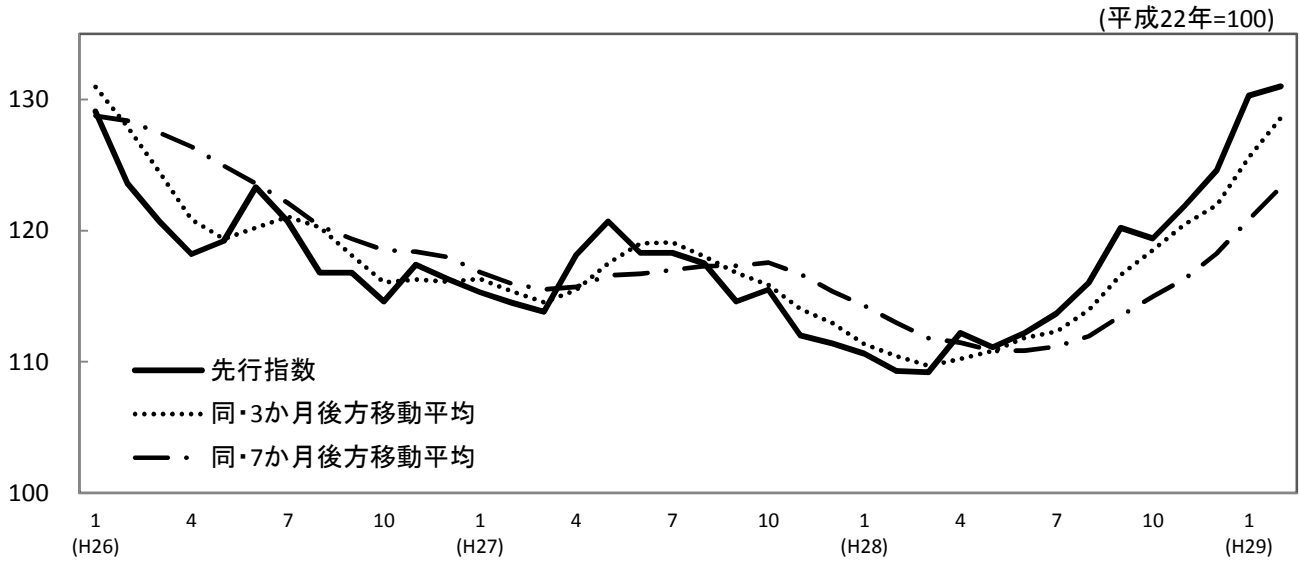
寄与度がプラスの系列		寄与度	寄与度がマイナスの系列	寄与度
先行系列	新設住宅着工床面積	0.27	新規求人数 東証株価指数	-1.06 -0.22
	業況判断来期予測	0.29		
	鉱工業用生産財在庫率指数（逆）	0.85		
	日経商品指数	0.61		
一致系列	有効求人倍率	0.06	建築着工床面積 大型小売店販売額	-0.34 -0.19
	鉱工業生産指数	0.59		
	所定外労働時間指数	0.20		
	中小企業景況売上高D I	0.30		
	鉱工業用生産財出荷指数	0.20		
遅行系列	有効求職者数（逆）	0.09	法人事業税調定額	-0.05
	消費者物価指数	0.29		
	雇用保険基本手当受給者数（逆）	0.22		
	常用雇用指数	0.16		
	貸出約定平均金利	0.05		
	鉱工業在庫指数	0.82		

景気動向指数（C I）の解説

- ① 作成の目的： C I (Composite Index)は、景気に敏感かつ重要な指標としてD I (Diffusion Index)で選定した指標について、その変化率を合成することにより、主として景気変動の大きさをとらえるために用いる。
- ② 作成の方法： 内閣府経済社会総合研究所と同様の方法でC Iを作成している。同研究所は、景気動向指数の第10次改定により、平成23年9月速報から作成方法を変更したため、本県も同様に、平成23年7～9月期報からC Iの作成方法を変更した。作成方法の詳細については、同研究所のウェブサイト(URL: <http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/di3.html>)に掲載されている。
 なお、本県では平成27年10～12月期報から、新たな採用系列でC Iを算定している。
- ③ 利用の方法： C Iには景気に対して先行して動く先行指数(予測)、一致して動く一致指数(足もと)、遅れて動く遅行指数(確認)の3つの指数がある。見方は、一般に、一致指数の上昇時が景気の拡張局面、下降時が後退局面であり、一致指数の山・谷の近傍に景気の山・谷が存在すると考えられる。ただし、経済各部門間の景気の波及、浸透度を示していないため、景気局面を判断するより、動きの幅がテンポを表すことから、その時々々の景気の量感を観察するために用いられる。
- ④ 利用上注意すべきこと等：
 月々のC Iの動きには、前月との対称変化率又は差を利用しており、前月及び当月の不規則な動きも含んでいる。このため、移動平均値をとることにより、月々の動きをならしめることが望ましい。3か月後方移動平均では足下の変化がつかみやすく、7か月後方移動平均では変化が定着しつつあることを確認できる。

3 CI先行系列の動向

(1) 先行指数の推移

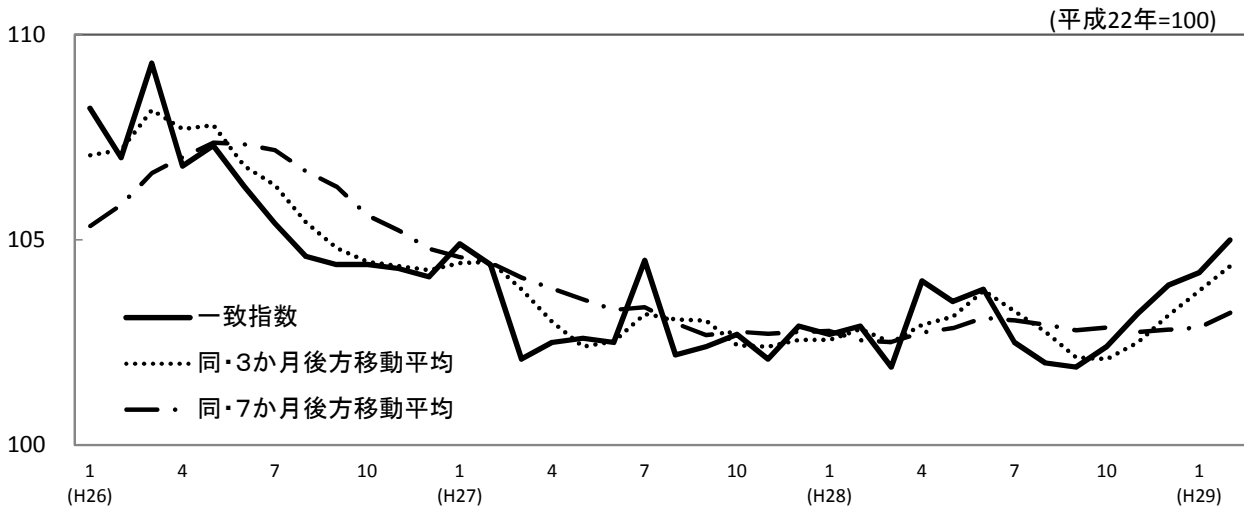


(2) 先行指数採用系列の寄与度

		平成28年(2016年)				平成29年(2017年)	
		9月	10月	11月	12月	1月	2月
CI先行指数	前月差(ポイント)	4.2	-0.8	2.5	2.7	5.7	0.7
	寄与度	0.50	-0.16	-0.02	-0.65	3.22	-1.06
新規求人数	前月比伸び率(%)	3.4	-0.8	0.1	-3.6	21.9	-5.5
	寄与度	-0.53	2.2	-4.4	5.3	4.6	2.9
新設住宅着工床面積	前月比伸び率(%)	-5.3	2.2	-4.4	5.3	4.6	2.9
	寄与度	-0.53	0.16	-0.44	0.49	0.44	0.27
業況判断来期予測	前月差	5.3	-5.3	-5.3	-5.3	1.0	1.0
	寄与度	1.51	-1.59	-1.61	-1.65	0.26	0.29
鉱工業用生産財在庫率指数(逆)	前月比伸び率(%)	-4.3	1.9	-5.6	-1.5	2.8	-3.3
	寄与度	1.02	-0.52	1.36	0.31	-0.80	0.85
日経商品指数	前月差	2.0	1.7	4.6	4.3	5.1	1.1
	寄与度	1.35	1.16	2.65	2.74	2.75	0.61
東証株価指数	前月比伸び率(%)	2.3	2.0	3.6	8.0	0.8	0.2
	寄与度	0.30	0.21	0.55	1.49	-0.11	-0.22
一致指数トピント成分	寄与度	-0.00	-0.03	-0.03	-0.05	-0.05	-0.04
3か月後方移動平均	前月差(ポイント)	116.6	118.5	120.5	122.0	125.6	128.6
7か月後方移動平均	前月差(ポイント)	113.5	115.0	116.4	118.3	120.9	123.3

4 CI一致系列の動向

(1) 一致指数の推移

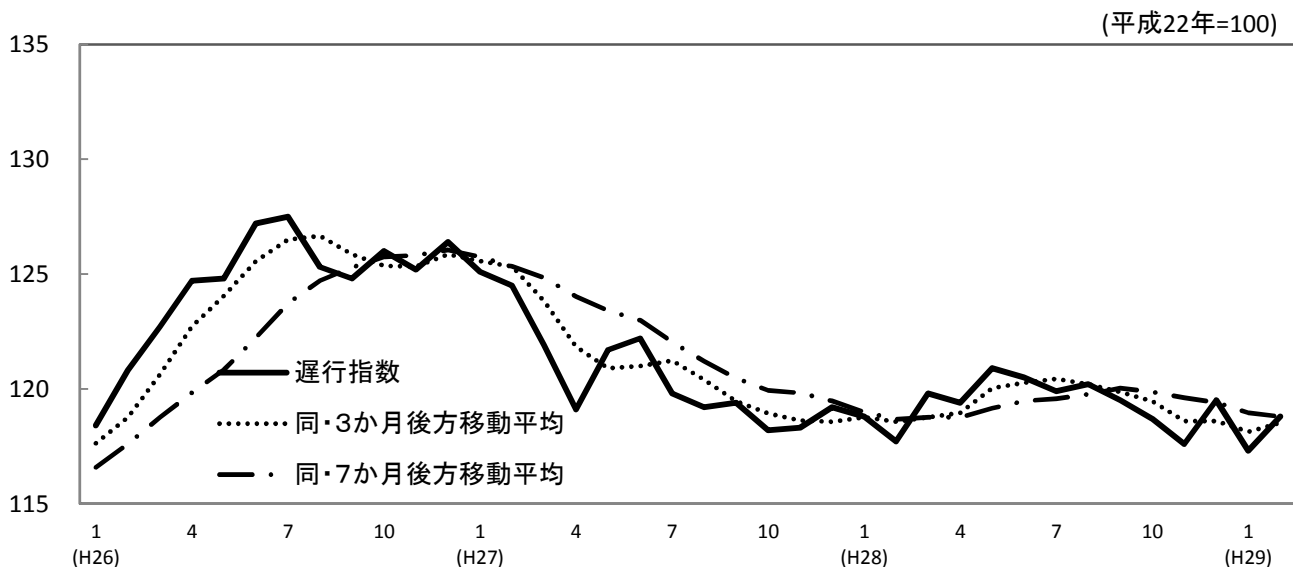


(2) 一致指数採用系列の寄与度

		平成28年(2016年)			平成29年(2017年)		
		9月	10月	11月	12月	1月	2月
CI一致指数	前月差(ポイント)	101.9	102.4	103.2	103.9	104.2	105.0
	寄与度	-0.1	0.5	0.8	0.7	0.3	0.8
有効求人倍率	前月差	-0.02	-0.01	0.04	0.00	0.02	0.01
	寄与度	-0.12	-0.06	0.22	0.00	0.11	0.06
鉱工業生産指数	前月比伸び率(%)	0.7	2.8	-2.6	1.7	-7.6	4.8
	寄与度	0.09	0.35	-0.33	0.21	-0.73	0.59
建築着工床面積	前月比伸び率(%)	-1.1	-0.4	0.2	2.7	0.9	-0.8
	寄与度	-0.47	-0.18	0.08	1.03	0.34	-0.34
大型小売店販売額	前月差	0.6	3.2	0.9	-1.7	-0.1	-1.9
	寄与度	0.06	0.30	0.09	-0.17	-0.01	-0.19
所定外労働時間指数	前月比伸び率(%)	1.9	2.0	2.4	-3.6	4.8	2.0
	寄与度	0.18	0.18	0.23	-0.38	0.47	0.20
中小企業景況売上高DI	前月差	-0.5	0.1	0.1	0.1	2.7	2.7
	寄与度	-0.07	0.00	0.00	0.00	0.30	0.30
鉱工業用生産財出荷指数	前月比伸び率(%)	1.8	-1.0	4.6	-0.4	-1.2	1.5
	寄与度	0.23	-0.14	0.57	-0.05	-0.16	0.20
3か月後方移動平均	前月差(ポイント)	102.1	102.1	102.5	103.2	103.8	104.4
	寄与度	-0.64	-0.03	0.40	0.67	0.60	0.60
7か月後方移動平均	前月差(ポイント)	102.8	102.9	102.8	102.8	102.9	103.2
	寄与度	-0.14	0.07	-0.11	0.05	0.06	0.36

5 CI 遅行系列の動向

(1) 遅行指数の推移



(2) 遅行指数採用系列の寄与度

		平成28年(2016年)					
		9月	10月	11月	12月	1月	2月
CI遅行指数		119.5	118.7	117.6	119.5	117.3	118.8
	前月差(ポイント)	-0.7	-0.8	-1.1	1.9	-2.2	1.5
有効求職者数(逆)	前月比伸び率(%)	0.2	-0.5	-0.3	-1.1	1.6	-0.8
	寄与度	-0.23	-0.01	-0.04	0.22	-0.65	0.09
消費者物価指数	前月差	0.2	0.1	0.2	0.3	0.3	0.2
	寄与度	0.34	0.17	0.31	0.46	0.46	0.29
法人事業税調定額	前月比伸び率(%)	3.9	-0.6	-5.8	63.0	-29.5	-0.4
	寄与度	0.10	-0.06	-0.27	1.46	-1.41	-0.05
雇用保険基本手当受給者数(逆)	前月比伸び率(%)	-2.1	-1.5	-1.1	0.3	-0.9	-1.8
	寄与度	0.27	0.15	0.07	-0.22	0.04	0.22
常用雇用指数	前月比伸び率(%)	-0.4	0.0	-0.1	0.0	0.5	0.1
	寄与度	-0.77	-0.02	-0.18	-0.01	0.90	0.16
貸出約定平均金利	前月差	-0.3	-0.6	0.0	-0.2	-0.6	0.0
	寄与度	-0.15	-0.33	0.05	-0.08	-0.32	0.05
鉱工業在庫指数	前月比伸び率(%)	-1.6	-3.3	-5.8	0.3	-6.3	4.1
	寄与度	-0.30	-0.60	-1.06	0.11	-1.14	0.82
一致指数トント成分	寄与度	-0.00	-0.03	-0.03	-0.05	-0.05	-0.04
3か月後方移動平均		119.9	119.5	118.6	118.6	118.1	118.5
	前月差(ポイント)	-0.33	-0.40	-0.87	0.00	-0.47	0.40
7か月後方移動平均		120.0	119.9	119.6	119.4	119.0	118.8
	前月差(ポイント)	0.26	-0.16	-0.26	-0.20	-0.45	-0.16

6 C I時系列表 (H 2 2年= 1 0 0)

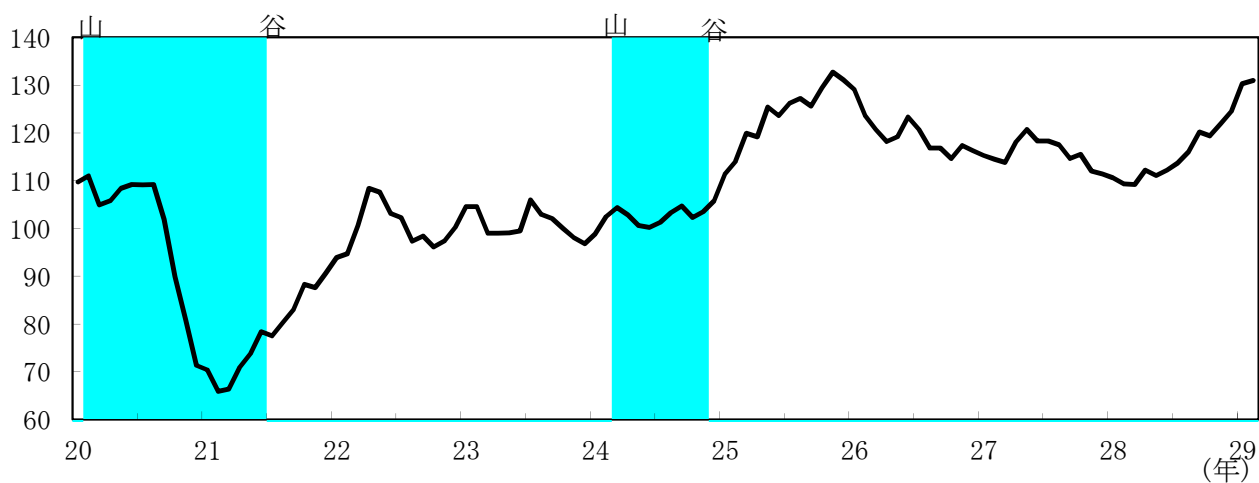
先行指数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
20年	109.7	111.0	104.9	105.8	108.4	109.2	109.1	109.2	101.9	89.9	80.7	71.3
21年	70.4	65.9	66.4	70.9	73.8	78.4	77.5	80.3	83.0	88.3	87.6	90.6
22年	93.9	94.7	100.6	108.4	107.6	103.1	102.2	97.3	98.4	96.1	97.4	100.3
23年	104.6	104.6	99.0	99.0	99.1	99.5	106.0	102.9	102.0	100.0	98.1	96.8
24年	98.9	102.5	104.4	102.8	100.6	100.2	101.3	103.3	104.7	102.3	103.5	105.8
25年	111.4	114.0	119.9	119.2	125.4	123.6	126.2	127.2	125.6	129.4	132.7	131.1
26年	129.1	123.6	120.7	118.2	119.2	123.3	120.7	116.8	116.8	114.6	117.4	116.3
27年	115.3	114.5	113.8	118.1	120.7	118.3	118.3	117.5	114.6	115.5	112.0	111.4
28年	110.6	109.3	109.2	112.2	111.1	112.2	113.7	116.0	120.2	119.4	121.9	124.6
29年	130.3	131.0										

一致指数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
20年	102.6	103.4	103.5	102.4	102.2	102.8	103.1	102.2	100.7	97.7	92.0	85.7
21年	81.4	77.9	76.3	78.0	80.0	80.6	84.6	84.9	85.7	87.9	89.9	92.5
22年	93.9	95.1	97.4	100.2	101.1	101.6	102.8	102.9	103.3	100.0	101.3	100.4
23年	101.3	101.3	96.7	96.0	96.1	96.9	98.5	99.5	101.1	103.4	104.7	105.1
24年	104.8	105.5	107.0	106.0	105.3	104.9	103.5	103.3	103.3	103.5	100.0	99.3
25年	100.2	100.9	101.9	102.1	102.5	102.8	103.4	103.9	104.1	104.8	106.6	106.4
26年	108.2	107.0	109.3	106.8	107.3	106.3	105.4	104.6	104.4	104.4	104.3	104.1
27年	104.9	104.4	102.1	102.5	102.6	102.5	104.5	102.2	102.4	102.7	102.1	102.9
28年	102.7	102.9	101.9	104.0	103.5	103.8	102.5	102.0	101.9	102.4	103.2	103.9
29年	104.2	105.0										

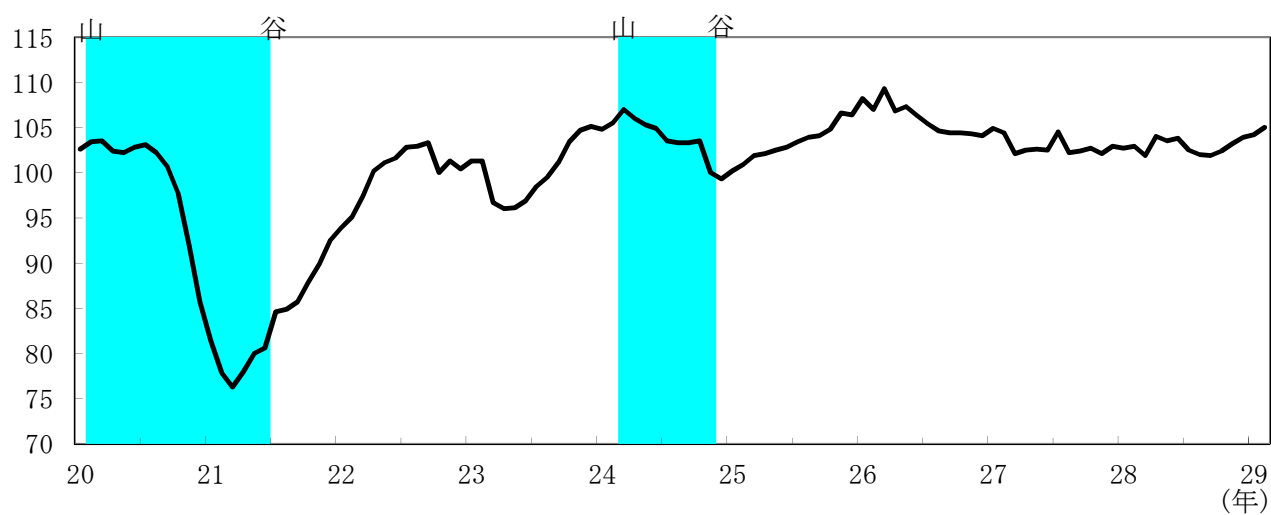
遅行指数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
20年	116.3	117.1	117.7	115.2	117.8	116.7	116.8	116.4	114.8	112.5	110.2	104.3
21年	95.7	92.1	88.3	86.9	83.8	81.8	81.7	81.8	83.5	84.9	85.9	87.6
22年	91.1	92.4	94.7	97.3	101.1	102.8	102.9	103.9	102.8	103.1	104.1	103.8
23年	106.2	106.7	104.3	104.3	104.4	103.0	107.8	106.8	105.7	108.7	109.9	109.0
24年	111.3	111.2	112.7	112.2	110.3	111.0	109.5	108.8	111.0	110.4	111.0	108.4
25年	108.5	110.5	110.7	111.2	113.5	112.7	113.6	114.6	117.2	117.8	117.4	117.1
26年	118.4	120.8	122.7	124.7	124.8	127.2	127.5	125.3	124.8	126.0	125.2	126.4
27年	125.1	124.5	121.9	119.1	121.7	122.2	119.8	119.2	119.4	118.2	118.3	119.2
28年	118.8	117.7	119.8	119.4	120.9	120.5	119.9	120.2	119.5	118.7	117.6	119.5
29年	117.3	118.8										

7 C I時系列グラフ (H22年=100)

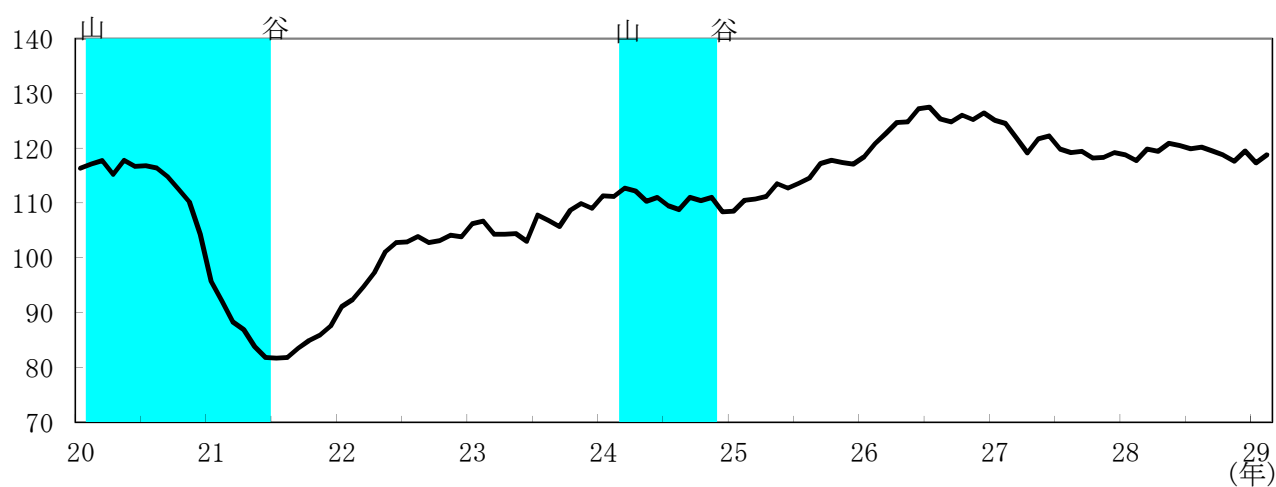
(1) 先行指数



(2) 一致指数



(3) 遅行指数



(注) シャドー部分は景気後退期を示す。

8 DI (ディフュージョン・インデックス) 変化方向表

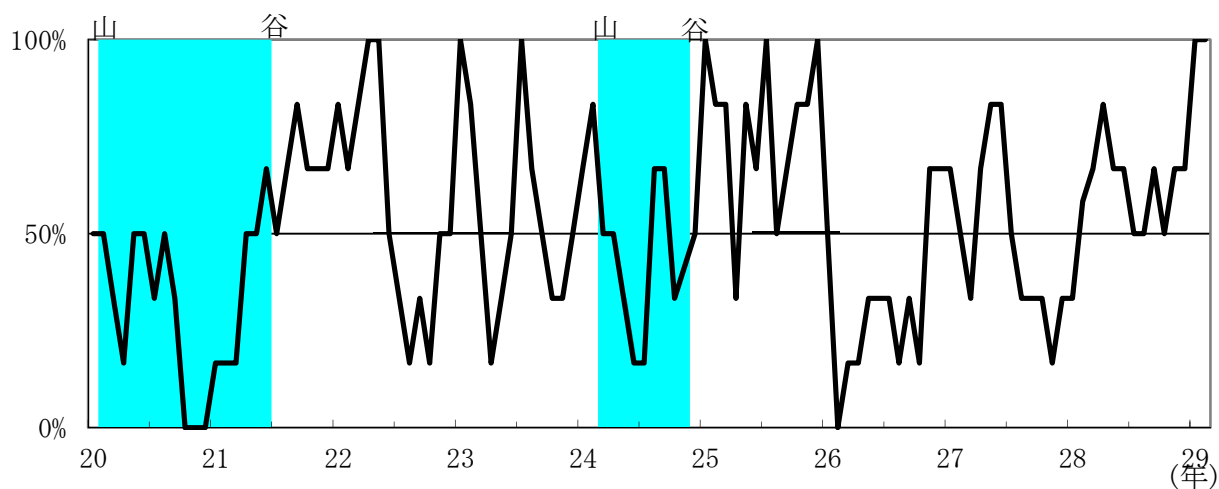
系 列 名	H. 28											H. 29	
(1) 先行系列	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
新規求人数	+	+	+	-	+	+	-	-	-	+	-	+	+
新設住宅着工床面積	+	+	+	-	+	-	-	-	-	-	+	+	+
業況判断来期予測	-	-	+	+	+	+	+	+	-	-	-	+	+
鉱工業用生産財在庫率指数(逆)	+	+	+	+	+	-	+	+	+	+	+	+	+
日経商品指数	=	+	+	+	-	+	+	+	+	+	+	+	+
東証株価指数	-	-	-	+	-	-	-	+	+	+	+	+	+
DI (%)	58.3	66.7	83.3	66.7	66.7	50.0	50.0	66.7	50.0	66.7	66.7	100.0	100.0
(2) 一致系列	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
有効求人倍率	+	+	+	+	-	-	+	+	+	+	+	+	+
鉱工業生産指数	-	-	-	+	+	-	+	+	+	+	+	-	-
建築着工床面積	-	-	+	+	+	+	-	-	-	-	+	+	+
大型小売店販売額	+	-	+	-	+	-	-	-	+	+	+	-	-
所定外労働時間指数	+	-	+	=	-	-	-	-	+	+	+	+	+
中小企業景況売上高DI	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+
鉱工業用生産財出荷指数	+	+	+	+	+	-	+	+	+	+	+	+	-
DI (%)	57.1	28.6	71.4	64.3	57.1	14.3	42.9	42.9	85.7	85.7	100.0	71.4	57.1
(3) 遅行系列	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
有効求職者数(逆)	+	+	+	+	+	-	-	+	+	+	+	-	+
消費者物価指数	-	-	+	+	+	=	=	=	+	+	+	+	+
法人事業税調定額	-	-	-	+	+	-	+	+	+	-	+	+	+
雇用保険基本手当受給者数(逆)	+	+	+	+	+	+	-	+	+	+	+	+	+
常用雇用指数	+	+	-	-	-	+	+	+	-	-	-	+	+
県内銀行貸出約定平均金利	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鉱工業在庫指数	-	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-
DI (%)	57.1	71.4	57.1	71.4	71.4	50.0	50.0	64.3	57.1	42.9	57.1	57.1	71.4

景気動向指数(DI)の解説

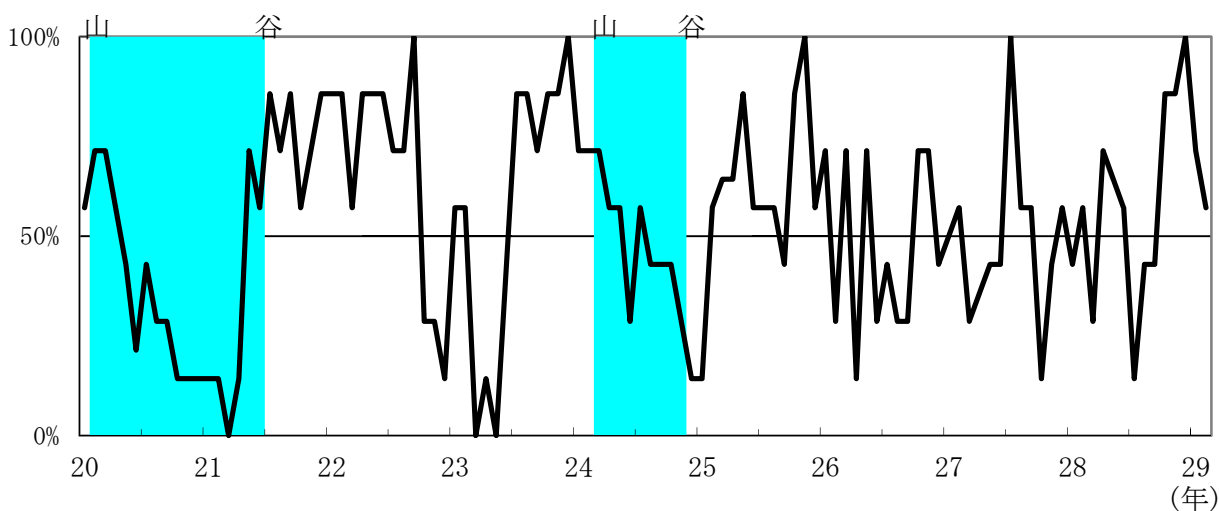
- ①作成の目的： DI (Diffusion IndSx)は、景気に敏感かつ重要な指標を選定し、そのうち上昇(拡張)を示している指標の割合を表すものであり、景気局面の判断及び予測と転換点の判定に用いる。
- ②作成の方法： 採用系列の各月の値を3か月前と比較し、各系列群(先行、一致、遅行)ごとに採用系列数(先行=6、一致=7、遅行=7)に占める拡張系列数(保合いは0.5とカウント)の割合(%)をDIとする。
 なお、平成27年10～12月期報から、新たな採用系列でDIを算定している。
 ※ $DI = \text{拡張系列数} / \text{採用系列数} \times 100 (\%)$
- ③利用の方法： DIは、一致指数が、傾向として50%を上回っている時が景気の拡張局面、50%を下回っている時が後退局面とみる。そして、一致指数が50%ラインを上から下へ切る時点の近傍が景気の山、逆に下から上へ切る時点の近傍が景気の谷であるとする。
- ④景況判断に当たり考慮すべきこと等
- ・ 景気拡張及び後退の期間が短い場合、単に景気拡張または後退と考えるべきではない。
 - ・ 景気が良いか悪いかは50%ラインを目安にしているが、部門間に跛行性があるため判断に当たっては大半の部門に景気変動が波及していることを確認することが必要である。
 - ・ DIは変化率を合成したものではないので、DIの水準自体の変化は景気変動の大きさ(テンポ)と直接的には関係はない。
 - ・ CIとDIはともに長所と短所を持っており、両者を相互補完的に利用することが望ましい。具体的には、CIを主として景気変動の大きさやテンポを過去と比較するといった量的な分析に、DIを主として景気局面、転換点の判断という質的な分析に活用するものとして位置づけることにより、景気変動をよりの確にとらえることが可能となる。

9 DI時系列グラフ

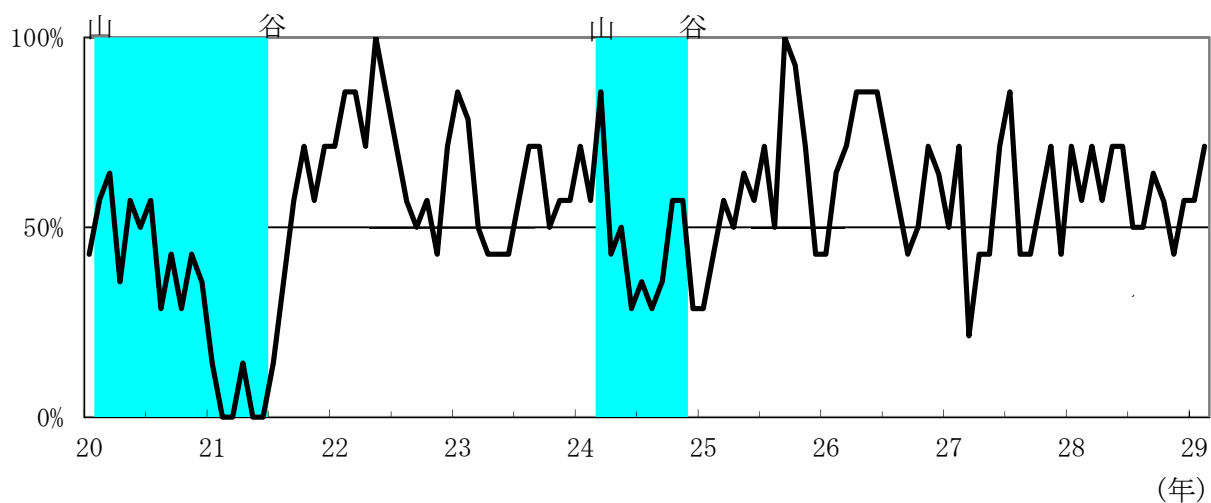
(1) 先行指数



(2) 一致指数

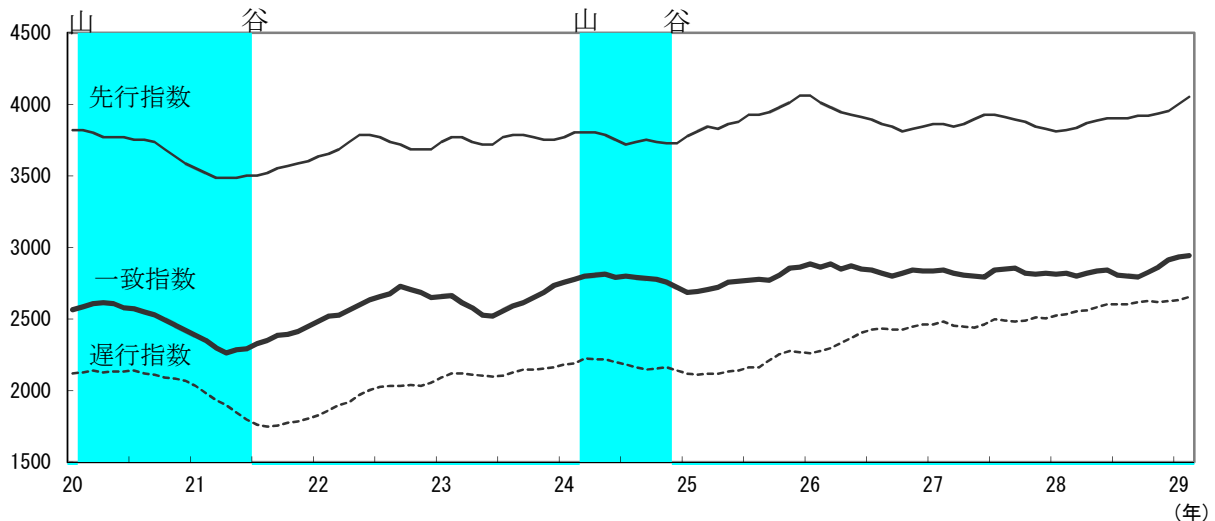


(3) 遅行指数



(注) シャドー部分は景気後退期を示す。

10 DI 累積指数時系列グラフ



(注) シャドー部分は景気後退期を示す。

DI 累積指数の解説

- ① 作成の方法：累積指数は、各月のDI指数を下の式により累積したものである。

$$(\text{累積DI})_t = (\text{累積DI})_{t-1} + (\text{DI}_t - 50)$$
- ② 利用の方法：DIが傾向として50%を上回っている、すなわち拡張期にはおおむね**右上がり**になり、逆に、DIが傾向として50%を下回っている、すなわち後退期にはおおむね**右下がり**になるため、累積指数(一致指数)の山・谷が景気の山・谷とほぼ一致するので、直感的に局面を把握するのに便利である。
- ③ 利用上の注意：グラフを見やすくするため、先行指数には3500、一致指数には2000、遅行指数には1000をそれぞれ加えてある。

個別系列の概要

系列名	内容	季節調整	作成機関	資料出所
先行系列	新規求人数	X12ARIMA	群馬労働局職業安定課	「労働市場速報」
	新設住宅着工床面積	X12ARIMA	国土交通省総合政策局	「建築着工統計調査(月報)」
	業況判断先期末予測(製造業)	X11	群馬経済研究所	「群馬県内企業経営動向調査」
	鉱工業用生産財在庫率指数(逆)	2010年=100 X12ARIMA	県統計課	「群馬県鉱工業指数」
	日経商品指数	1970年=100 前年同月比	日本経済新聞社	「日本経済新聞」
東証株価指数	—	東京証券取引所	「東証統計月報」	
一致系列	有効求人倍率	前年同月差	群馬労働局職業安定課	「労働市場速報」
	鉱工業生産指数	2010年=100 X12ARIMA	県統計課	「群馬県鉱工業指数」
	建築着工床面積(非居住用)	logの3か月後 方移動平均 X12ARIMA	国土交通省総合政策局	「建築着工統計調査(月報)」
	大型小売店(百貨店+スーパー)販売額	既存店 前年同月比	経済産業省	「商業販売統計月報」
	所定外労働時間指数(30人以上、製造業)	2010年=100 X12ARIMA	県統計課	「毎月勤労統計調査」
中小企業景況売上高DI(製造業)	X11	群馬県中小企業団体中央会	「県内中小企業(製造業)景況動向調査」	
鉱工業用生産財出荷指数	2010年=100 X12ARIMA	県統計課	「群馬県鉱工業指数」	
遅行系列	有効求職者数(逆)	X12ARIMA	群馬労働局職業安定課	「労働市場速報」
	消費者物価指数(帰属家賃及び生鮮食品を除く総合)	2015年=100 前年同月比	総務省統計局	「消費者物価指数(都道府県庁所在市)」
	法人事業税調定額	X12ARIMA	県税務課	—
	雇用保険基本手当受給者数(実人員)(逆)	X12ARIMA	群馬労働局職業安定課	「労働市場速報」
	常用雇用指数(30人以上、調査産業計)	2010年=100 X12ARIMA	県統計課	「毎月勤労統計調査」
貸出約定平均金利(地方銀行)	前年同月比	関東財務局前橋財務事務所	「群馬県内金融機関の貸出金利動向」	
鉱工業在庫指数	2010年=100 X12ARIMA	県統計課	「群馬県鉱工業指数」	

※ (逆)とは、逆サイクル指標(数値の上昇が当該指標の水準の下降を示す指標)であることを表している。

※ 「季節調整」欄の「X12ARIMA」とは、米商務省センサス局法「X-12-ARIMA」を、「X11」とは、同「X-12-ARIMA」の中の「X-11 デフォルト」をいう。

※ 先行系列の鉱工業用生産財在庫率指数(逆)は、県統計課が公表した季節調整値を用いて次のとおり算定した。

$$\text{鉱工業用生産財在庫率指数} = \text{鉱工業用生産財在庫指数} / \text{鉱工業用生産財出荷指数}$$